

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	安全で安心して暮らせるまちづくり (防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度	交付対象	伊豆の国市
計画の目標			

汚水：安全で快適な都市環境の整備を実現させるため、老朽化施設の改築を行い、適正な維持管理及び機能の向上を図る。  
 雨水：安全で快適な都市環境の整備を実現させるため、雨水排水施設等の整備を行い、浸水防除を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

汚水：長寿命化計画に基づく老朽化施設の改築等を計画的に行う。  
 雨水：神島・中島地区における浸水被害を軽減するため、神島ポンプ場整備事業のうち、用地買収、ポンプ場躯体一式 (土木・建築)、機械設備、電気設備、放流渠を整備する。  
 長岡地区における浸水被害を軽減するため、幹線管渠を整備する。

定量的指標の定義及び算定式

①	長寿命化計画による改築、更新の実施率 (%) = (実施済項目) / (H26末実施目標：MP更新、管路TVカメラ調査、管渠布設替、MH蓋取替)	定量的指標の現況値及び目標値			備考					
		当初現況値	中間目標値	最終目標値						
		(H22当初)	(H24末)	(H26末)						
②	雨水ポンプ場整備率 (%) = (整備項目) / (H26末整備目標：用地買収、ポンプ場躯体一式 (土木・建築)、機械設備、電気設備、放流渠)	0.0% (H24当初)	-	100.0%	整備すべき延長：2,127.9m(100%) ・H25実績：911.9m(42.8%) ・H26目標：1,019.9m(47.9%)+108.0m					
③	雨水幹線管渠整備率 (%) = (整備済延長(m)) / (整備すべき延長(m))	42.8% (H25当初)	-	47.9%						
全体事業費 合計 (A+B+C)		1,650 百万円	A	1,650 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
伊豆の国市都市整備部メンバーより構成される「事後評価委員会」により評価を実施。	平成 28年 3月
	公表の方法
	評価完了後、市のホームページに掲載

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) -：その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

交付対象事業

A1 基幹事業													全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)							
											H22	H23	H24	H25	H26			
1-A1-4	下水道	一般	伊豆の国市	直接	伊豆の国市	雨水	新設	神島ポンプ場整備	処理能力 5.7m3/分	伊豆の国市						1,225		
1-A1-6	下水道	一般	伊豆の国市	直接	伊豆の国市	汚水	改築	長岡・葦山・大仁地区管渠 (長寿命化)	MP更新(0.3~0.6m3/分)、管路TVカメラ調査 L=6,000m、管路布設L=44m、車道取替100箇所	伊豆の国市						82		
1-A1-7	下水道	一般	伊豆の国市	直接	伊豆の国市	雨水	新設	長岡地区幹線管渠整備	管路・2,000×1,500~1,300×900 L=334m	伊豆の国市						343	(未実施)	
											合計					1,650		

B 関連社会資本整備事業

番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27			
										合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	進捗状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

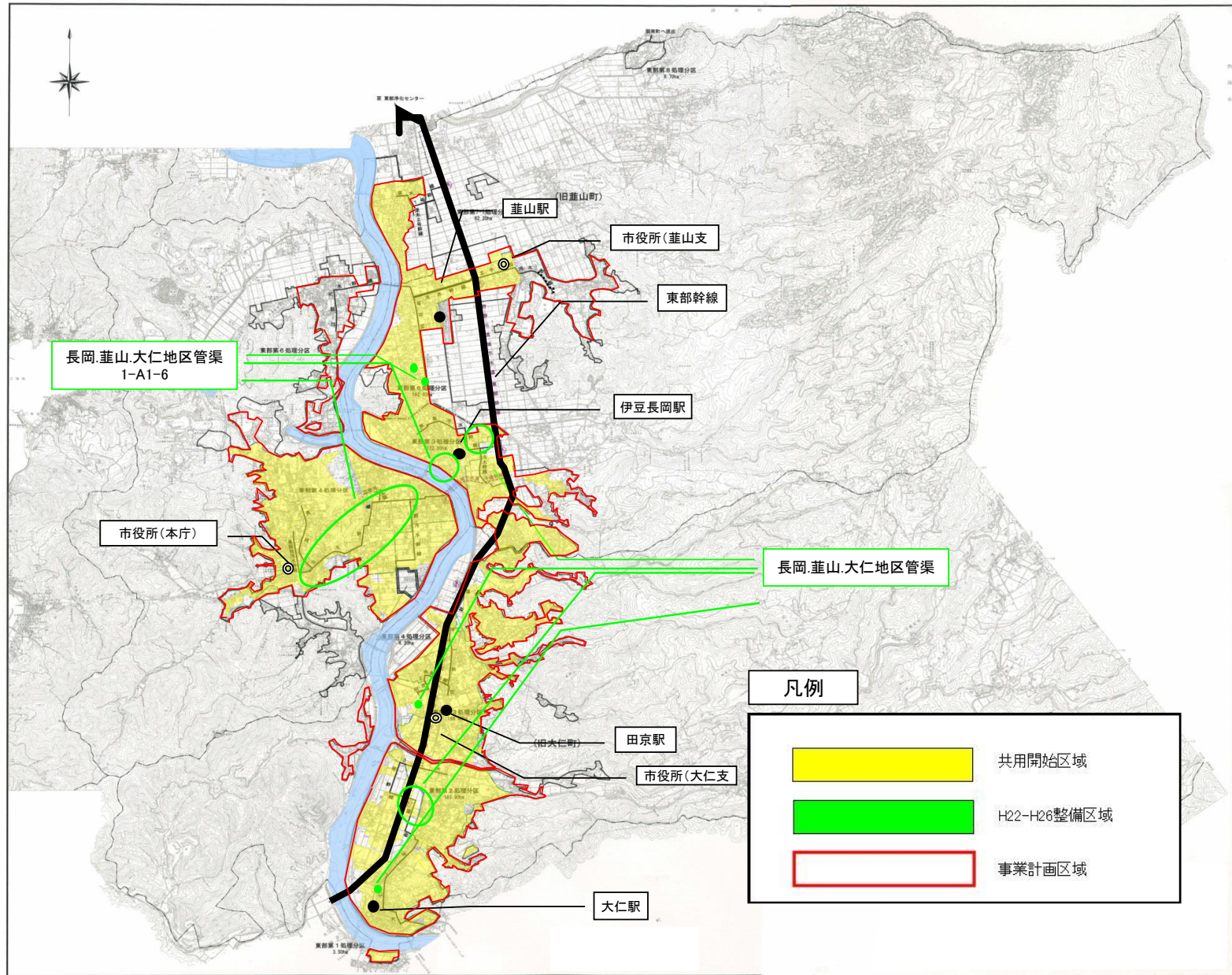
（参考）計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

（別添「事業実施計画」参照）

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設である雨水ポンプ場を整備したことで、浸水被害の軽減が図られ、市民の安全・安心な生活や都市機能の確保に寄与した（1-A1-4）。</li> <li>・下水道施設の計画的な改築を推進したことで、下水道施設の機能確保と道路陥没等による二次被害の防止、今後の適正な維持管理の実行に寄与した（1-A1-6）。</li> </ul>																				
II 定量的指標の達成状況	指標①（雨水ポンプ場整備率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	<p>計画どおり、用地買収、ポンプ場躯体一式（土木・建築）、機械設備、電気設備、放流渠の（1-A1-4）を実施し、目標を達成した。</p> <p>【目標値の算出】</p> <table border="0"> <tr> <td>整備項目</td> <td>5項目</td> <td>÷</td> <td>5項目</td> <td>×</td> <td>100</td> <td>=</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>【実績値の算出】</td> <td>5項目</td> <td>÷</td> <td>5項目</td> <td>×</td> <td>100</td> <td>=</td> <td>100.0%</td> </tr> </table> <p>整備すべき項目 整備率</p>	整備項目	5項目	÷	5項目	×	100	=	100.0%	【実績値の算出】	5項目	÷	5項目	×	100	=	100.0%	
		整備項目	5項目			÷	5項目	×	100	=	100.0%											
	【実績値の算出】	5項目	÷	5項目		×	100	=	100.0%													
	最終実績値	100.0%																				
	指標②（長寿命化計画による改築・更新の実施率）	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因		<p>計画どおり、MP更新、管路TVカメラ調査、管渠布設替、MH蓋取替の（1-A1-6）を実施し、目標を達成した。</p> <p>【目標値の算出】</p> <table border="0"> <tr> <td>整備項目</td> <td>4項目</td> <td>÷</td> <td>4項目</td> <td>×</td> <td>100</td> <td>=</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>【実績値の算出】</td> <td>4項目</td> <td>÷</td> <td>4項目</td> <td>×</td> <td>100</td> <td>=</td> <td>100.0%</td> </tr> </table> <p>整備すべき項目 整備率</p>	整備項目	4項目	÷	4項目	×	100	=	100.0%	【実績値の算出】	4項目	÷	4項目	×	100	=	100.0%
		整備項目	4項目				÷	4項目	×	100	=	100.0%										
【実績値の算出】	4項目	÷	4項目	×	100		=	100.0%														
最終実績値	100.0%																					
指標③（雨水幹線管渠整備率）	最終目標値	47.9%	目標値と実績値に差が出た要因	<p>関係機関の道路改良工事のスケジュールと合わせた施工を計画していたが、関係機関の工事が延長となった為、当該事業についても未実施となり、目標が達成できなかった。</p> <p>【目標値の算出】</p> <table border="0"> <tr> <td>整備延長</td> <td>1,019.9m</td> <td>÷</td> <td>2,127.9m</td> <td>×</td> <td>100</td> <td>=</td> <td>47.9%</td> </tr> <tr> <td>【実績値の算出】</td> <td>911.9m</td> <td>÷</td> <td>2,127.9m</td> <td>×</td> <td>100</td> <td>=</td> <td>42.8%</td> </tr> </table> <p>整備すべき項目 整備率</p>	整備延長		1,019.9m	÷	2,127.9m	×	100	=	47.9%	【実績値の算出】	911.9m	÷	2,127.9m	×	100	=	42.8%	
	整備延長	1,019.9m			÷		2,127.9m	×	100	=	47.9%											
【実績値の算出】	911.9m	÷	2,127.9m		×	100	=	42.8%														
最終実績値	42.8%																					
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		なし																				
3. 特記事項（今後の方針等）																						
今後も引き続き、下水道施設の計画的な改築を進めていくとともに、浸水被害を軽減する雨水排水施設の整備を進め、市民が安全・安心に暮らせるまちづくりに寄与していく。																						

(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称	安全で安心して暮らせるまちづくり (防災・安全)	
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象

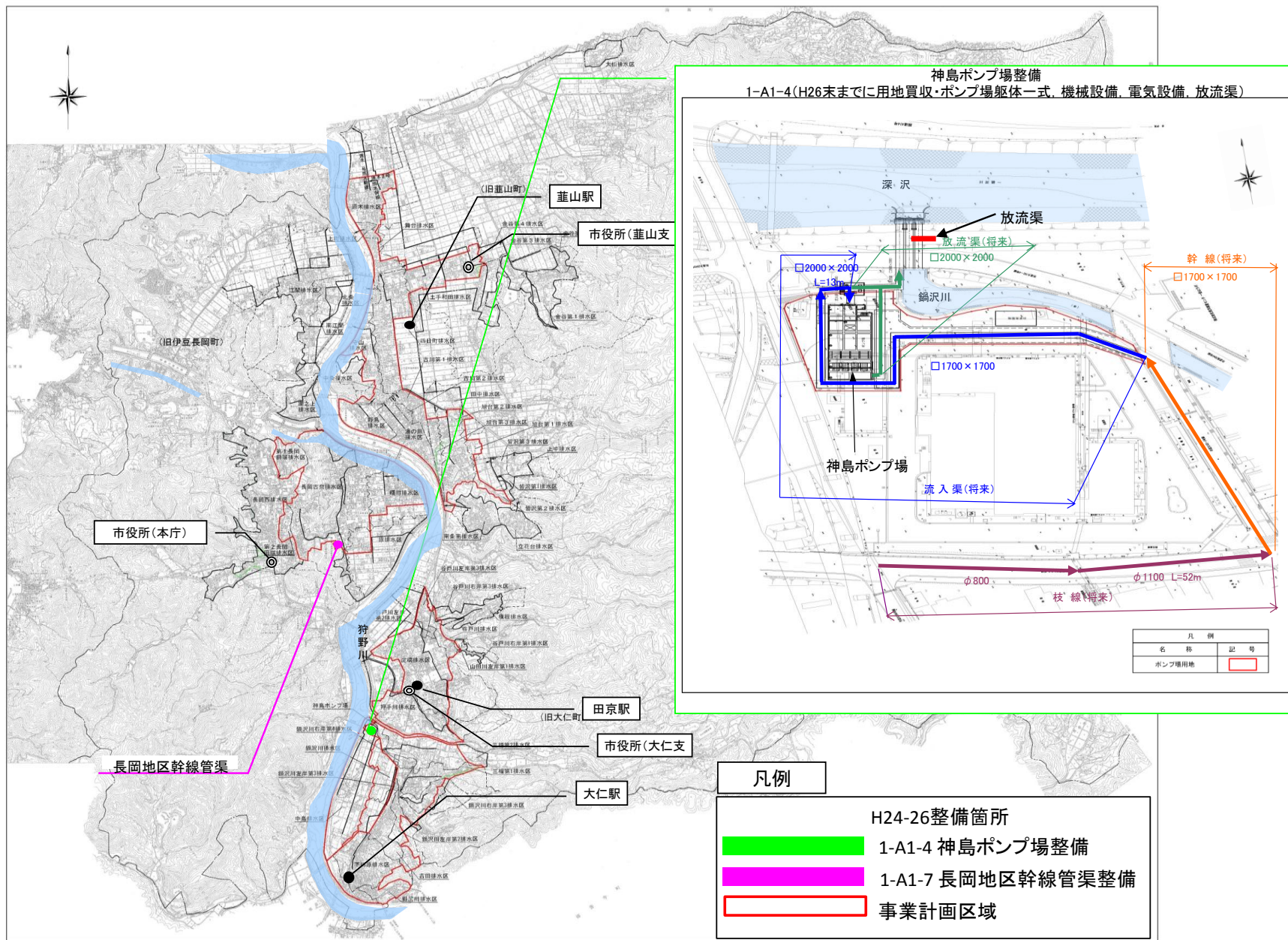




(様式6) 社会資本総合整備計画 (参考図面)

計画の名称 安全で安心して暮らせるまちづくり (防災・安全)  
 計画の期間 平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)

交付対象



- 凡例
- H24-26整備箇所
  - 1-A1-4 神島ポンプ場整備
  - 1-A1-7 長岡地区幹線管渠整備
  - 事業計画区域